

# 第104期 報告書

2025年4月1日 ▶ 2026年3月31日



## Heat in Heart

情熱で拓く。誠実で応える。



 昭和鉄工株式会社  
Showa Manufacturing Co.,Ltd.



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは2026年3月31日をもちまして、第104期を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに決算の結果につきましてご報告申し上げます。

2026年6月

代表取締役社長 日野宏昭

## 新中期経営計画「責任ある未来 環境・社会をより豊かで健全に

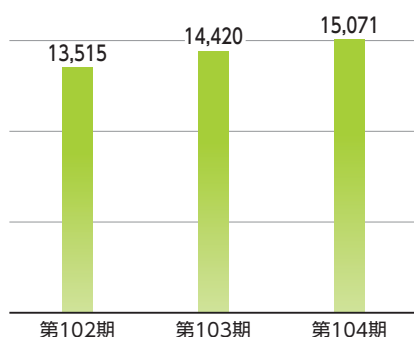
### Q 第104期の総括をお願いします。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や旺盛な建設・設備投資等を背景に緩やかな回復の動きが見られる一方で、物価上昇の継続や工事の担い手不足による工事遅延に加え、米国の通商政策や欧州・中東における地政学的リスク等の影響により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、2023年度から2025年度までの3ヶ年における中期経営計画「人財戦略・事業戦略を一貫させた強い昭和鉄工で

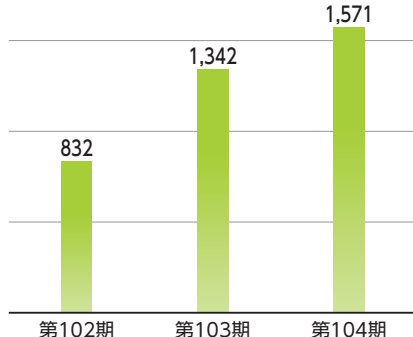
#### 売上高

(単位：百万円)



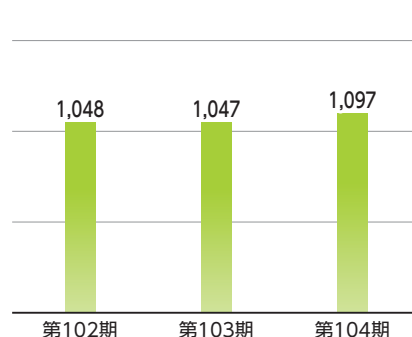
#### 経常利益

(単位：百万円)



#### 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



## に向けて、地球環境・社会・経済・文化の調和に貢献]のもと、再生する一助となるよう取り組んでまいります。

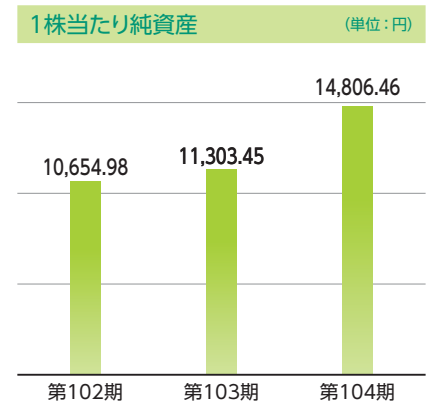
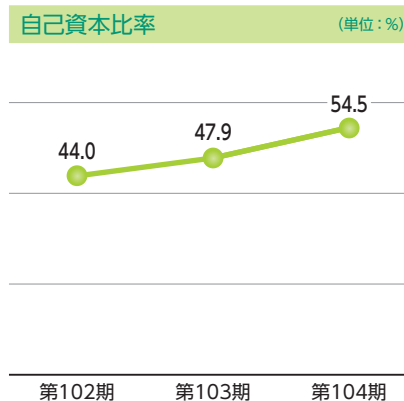
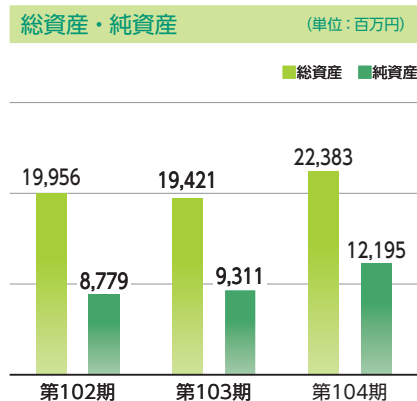
持続的社會への一翼を担おう!」の最終年度として、当初策定した数値目標以上の達成を目指し、重点課題である「事業運営と管理運営の抜本の見直し(データドリブン経営)」及び「組織風土改革と自律人財の育成(人財第一主義経営)」並びに「ライフサイクル型事業の推進」及び「サステナブル新商品の創出」に取り組んでまいりました。

### Q 第104期の業績についてお聞かせください。

当連結会計年度の当社グループの売上高は150億7千1百万円(前連結会計年度比4.5%増)、

受注高につきましては141億5千6百万円(同比1.2%減)となりました。

損益面では、売上高の増加に加えて、原材料価格の高止まり等に対応した適正な売価設定の他、設備投資や製造工程見直しによる原価低減等により、経常利益は15億7千1百万円(前連結会計年度比17.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は10億9千7百万円(同比4.8%増)となりました。



### Q 事業セグメント別の業績をお聞かせください。

#### ■ 機器装置事業

機器装置事業につきましては、空調機器の売上が旺盛な建設需要を背景に大幅に伸長しました。また、サーモデバイス機器は海外向け一部案件の前年度からの繰越出荷等が影響し、売上が増加しました。

その結果、当事業の売上高は81億4千6百万円(前連結会計年度比8.3%増)、受注高は72億4千1百万円(同比4.1%減)となりました。

#### ■ 素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、鋳造品の売上が新規の大口案件を受注したことにより好調に推移しました。また、景観製品は前年度からの繰越工事等が影響し、売上が増加しました。

その結果、当事業の売上高は23億9千9百万円

(前連結会計年度比5.7%増)、受注高は25億9百万円(同比2.2%増)となりました。

#### ■ サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、前年度において大口の空調設備・給排水衛生設備工事案件があったことによる反動減により、売上が減少しました。

その結果、当事業の売上高は45億2千5百万円(前連結会計年度比2.3%減)、受注高は44億5百万円(同比2.2%増)となりました。

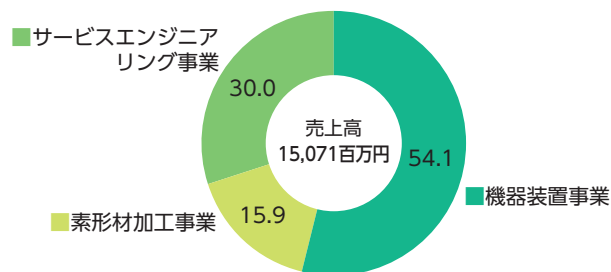
### Q 今後の見通しをお聞かせください。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は引き続き雇用・所得環境の改善や堅調な設備投資等を背景に回復基調の持続が期待される一方で、物価

セグメント別の売上高・受注高 (単位:百万円)

	売上高	受注高
■ 機器装置事業	8,146	7,241
■ 素形材加工事業	2,399	2,509
■ サービスエンジニアリング事業	4,525	4,405
合計	15,071	14,156

セグメント別の売上高構成比 (単位:%)



上昇による消費マインド減退や中東情勢の影響による原油高・原材料不足など景気の下振れリスクも懸念され、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

### Q 今年度の取り組みをお聞かせください。

当社グループは、2026年度から2028年度までの3ヶ年における新中期経営計画「責任ある未来に向けて、地球環境・社会・経済・文化の調和に貢献」を策定いたしました。

2026年度は、連結売上高155億円、連結売上高営業利益率7.7%の達成を目指し、重点課題である「データドリブン経営の推進」、「DX（組織風土改革）とFA（働き方改革）の加速」、「志ある自律人財の育成」、「ライフサイクル型事業の加速」及び「サステナブル製品・事業の探索」に取り組んでまいります。

### Q 株主還元の考え方についてお聞かせください。

当社は、株主の皆様への安定的な配当の継続を最重要課題と位置づけており、加えて企業業績のほか、今後予想される競争激化に耐えうるための経営効率化、新製品開発に備えるための内部留保の充実を勘案し、配当を行うことを基本方針としております。

第104期の期末配当につきましては、当期の業績、今後の経営環境の見通し等を勘案したうえで、1株につき普通配当50円に特別配当100円を加えた150円とさせていただきます。

### Q 最後に株主の皆様メッセージをお願いします。

これからも『誠実を造り、誠実を売り、誠実をサービスする』の社是のもと、全社共通の価値観であるミッション・ビジョン・バリューを体現し、全力をつくして業績の向上と安定した収益基盤の確立に邁進していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

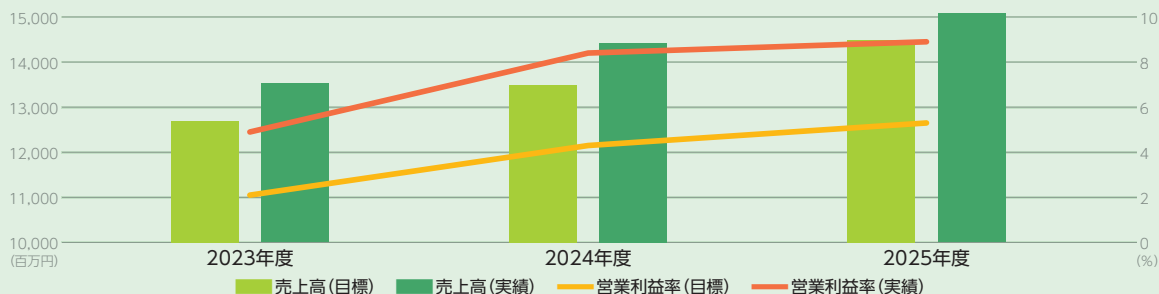


## ■ 前中期経営計画の振り返り

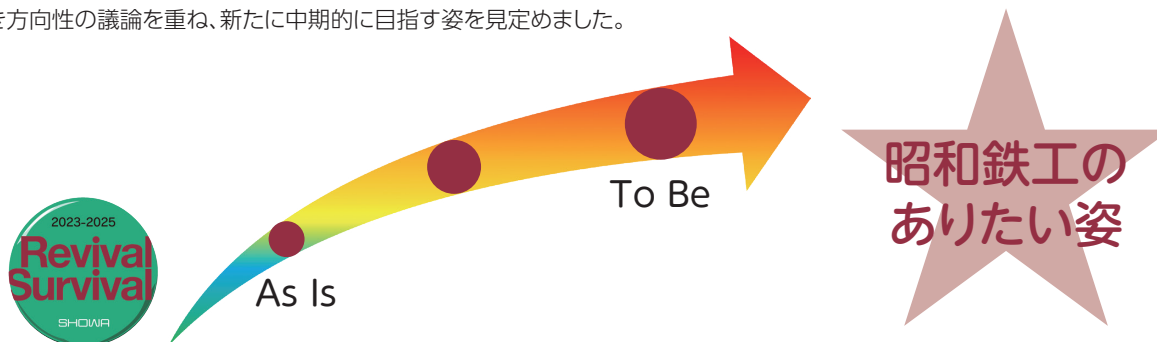
当社グループでは、2023年度から2025年度までの3年間、中期経営計画「人財戦略・事業戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社會への一翼を担おう!」を掲げ、社是である「誠実を造り、誠実を売り、誠実をサービスする」を根幹に全社共通の価値観としてミッション・ビジョン・バリューを再構築し、これまで当社の長い歴史を支えてきたモノづくりへの想いと熟技術の探求へ原点回帰する一方で、直面する社会や環境の様々な課題に取り組んでまいりました。

「リバイバルSHOWA」「サバイバルSHOWA」の各重点課題を着実に実践してきた結果、2023年度から2025年度の各計画当初の連結数値目標(売上高、営業利益率)について、いずれも達成することができました。

	連結売上高(百万円)		連結営業利益率(%)	
	目標	実績	目標	実績
2023年度	12,700	13,515	2.1	4.9
2024年度	13,500	14,420	4.3	8.4
2025年度	14,500	15,071	5.3	8.9



前中期経営計画の振り返りを踏まえ、改めて、ミッション・ビジョン・バリューを基に2040年のありたい姿を俯瞰しながら、当社グループの進むべき方向性の議論を重ね、新たに中期的に目指す姿を見定めました。



「リバイバルSHOWA」「サバイバルSHOWA」を経た当社グループが熟技術をベースとしたモノづくり・コトづくりを探求し続けることによって持続的な成長を遂げ、当社グループのミッションである「情熱技術で、ミライをカタチに。」を果たすべく、環境・社会をより豊かで健全に再生する一助となるよう、2026年度から2028年度までの3ヶ年において、次の連結数値目標と重点課題を実現してまいります。

責任ある未来に向けて、  
地球環境・社会・経済・文化の  
調和に貢献

Sustainable

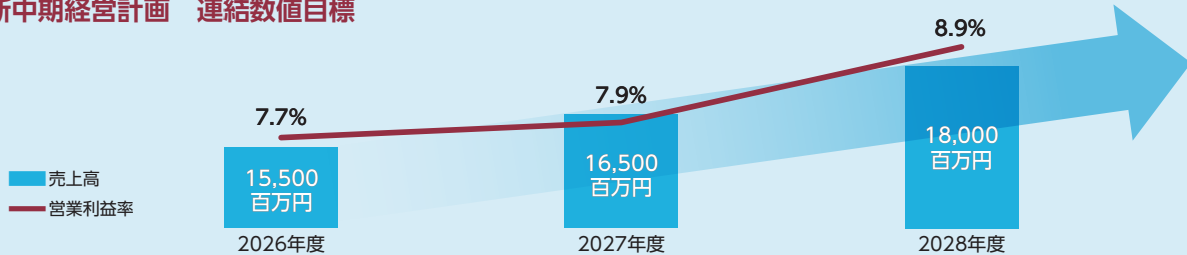
サステナブル  
Sustainable SHOWA

SHOWA



2026-2028 中期経営計画スローガン

## ■ 新中期経営計画 連結数値目標



## ■ 新中期経営計画 重点課題 【サステナブルSHOWA】 責任ある未来に向けて、地球環境・社会・経済・文化の調和に貢献

### I データドリブン経営の推進

- 原価・在庫・売価管理と与信・債権管理の強化による経営効率の向上
- 外注管理・協業体制の最適化による持続可能なサプライチェーンの構築と収益率の改善
- 顧客からのフィードバックやデータ分析に基づいた生産工程・品質不良コントロールと品質マネジメントシステムの構築
- 人事制度の再構築とタレントマネジメントによる人材の最適配置と事業戦略の実現
- 三線モデル(事業部門・管理部門・内部監査部門)の統制・連携・協働)による統合的なリスク管理と価値創造の支援

### II DX(組織風土改革)とFA(働き方改革)の加速

- データ分析基盤の整備による業務プロセスの標準化とAI技術を含めたデータ活用文化の醸成
- 最新設備の導入による生産工程の集約とロボット化の促進による生産性向上

### III 志ある自律人財の育成

- ミッション・ビジョン・バリューの体現による判断軸の強化と組織文化の醸成
- 階層別教育の強化による全社能力向上とサクセッションプランによる持続的成長・安定経営の実現

### IV ライフサイクル型事業の加速

- CN(カーボンニュートラル)を推進する高効率ハイブリッド給湯システムの設計提案
- ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)加速化に対応した省エネ・新冷媒空調製品のラインナップ拡充
- 顧客要望とIoTデータを融合した熱源・空調機器の省エネ最適化トータルソリューション(省エネリファイン)の提案強化
- ライフサイクルコスト抑制の施工・耐久性を実現した橋梁用多目的フェンスや街づくりをデザインする景観・街路製品(車止め等)の拡販

### V サステナブル製品・事業の探索

- GX(グリーントランスフォーメーション)に向けた新エネルギー適応製品の開発
- 半導体製造市場向け加熱装置の開発提案・拡販体制の構築と特殊電気ヒーターの新規顧客開拓

## 連結貸借対照表

科目	当期 2026年3月31日現在	前期 2025年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>10,015</b>	<b>9,995</b>
現金及び預金	2,695	3,383
受取手形	31	178
電子記録債権	2,445	1,646
売掛金	2,601	2,465
契約資産	89	118
商品及び製品	339	298
仕掛品	1,156	1,223
原材料	625	655
その他	34	28
貸倒引当金	△4	△4
<b>固定資産</b>	<b>12,367</b>	<b>9,426</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>3,989</b>	<b>3,777</b>
建物及び構築物	944	940
機械装置及び運搬具	1,181	943
土地	1,584	1,584
リース資産	206	214
その他	72	94
<b>無形固定資産</b>	<b>117</b>	<b>88</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>8,260</b>	<b>5,560</b>
投資有価証券	7,739	5,215
繰延税金資産	3	2
その他	529	356
貸倒引当金	△12	△14
<b>① 資産合計</b>	<b>22,383</b>	<b>19,421</b>

### ① 総資産

前期末に比べ29億6千1百万円増加し、223億8千3百万円となりました。主な要因は、電子記録債権7億9千9百万円、投資有価証券25億2千3百万円が増加したものです。

### ② 負債

前期末に比べ7千8百万円増加し、101億8千8百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債8億1千3百万円が増加した一方で、電子記録債務7億3千3百万円が減少したものです。

### ③ 純資産

前期末に比べ28億8千3百万円増加し、121億9千5百万円となりました。主な要因は、利益剰余金9億9千9百万円、その他有価証券評価差額金17億1千6百万円が増加したものです。

科目	当期 2026年3月31日現在	前期 2025年3月31日現在
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>6,872</b>	<b>7,553</b>
支払手形及び買掛金	853	887
電子記録債務	822	1,556
短期借入金	3,075	3,250
未払費用	889	688
未払法人税等	369	170
設備関係支払手形	146	270
契約負債	4	27
リース債務	49	45
その他	663	656
<b>固定負債</b>	<b>3,316</b>	<b>2,556</b>
長期借入金	100	25
長期預り保証金	313	313
退職給付に係る負債	1,086	1,181
繰延税金負債	1,739	925
リース債務	76	110
<b>② 負債合計</b>	<b>10,188</b>	<b>10,109</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>7,302</b>	<b>6,304</b>
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,226	1,226
利益剰余金	4,567	3,568
自己株式	△132	△131
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>4,892</b>	<b>3,007</b>
その他有価証券評価差額金	4,472	2,755
退職給付に係る調整累計額	419	251
<b>③ 純資産合計</b>	<b>12,195</b>	<b>9,311</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>22,383</b>	<b>19,421</b>

## 連結損益計算書

科目	当期	前期
	自 2025年4月 1日 至 2026年3月31日	自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日
④ 売上高	15,071	14,420
売上原価	10,712	10,383
売上総利益	4,358	4,036
販売費及び一般管理費	3,024	2,830
⑤ 営業利益	1,334	1,205
営業外収益	296	194
営業外費用	58	58
⑤ 経常利益	1,571	1,342
税金等調整前当期純利益	1,571	1,342
法人税、住民税及び事業税	545	290
法人税等調整額	△72	3
当期純利益	1,097	1,047
⑤ 親会社株主に帰属する当期純利益	1,097	1,047

## ④ 売上高

2023年度から2025年度までの3ヶ年における中期経営計画「人材戦略・事業戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的  
社会への一翼を担おう」の最終年度として、当初策定した  
数値目標以上の達成を目指し、重点課題である「事業運営と  
管理運営の抜本的見直し(データドリブン経営)」及び「組織  
風土改革と自律人材の育成(人材第一主義経営)」並びに  
「ライフサイクル型事業の推進」及び「サステナブル新商品の  
創出」に取り組んでまいりました。その結果、当期における  
当社グループの売上高は150億7千1百万円(前年同期比  
4.5%増)となりました。

## ⑤ 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

売上高の増加に加えて、原材料価格の高止まり等  
に対応した適正な売価設定の他、設備投資や製造工程  
見直しによる原価低減等により、営業利益は13億  
3千4百万円(前年同期比10.6%増)、経常利益は15億  
7千1百万円(前年同期比17.1%増)、親会社株主に  
帰属する当期純利益は10億9千7百万円(前年同期  
比4.8%増)となりました。

## ⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は2億6千万円  
(前年同期は8億8千9百万円の獲得)となり  
ました。主な要因は、税金等調整前当期純利益  
15億7千1百万円による増加と、売上債権の  
増加額7億5千8百万円及び仕入債務の減少額  
7億6千8百万円による減少です。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期	前期
	自 2025年4月 1日 至 2026年3月31日	自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日
⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー	260	889
投資活動によるキャッシュ・フロー	△701	△489
財務活動によるキャッシュ・フロー	△247	△260
現金及び現金同等物の増減額	△687	139
現金及び現金同等物の期首残高	3,383	3,243
現金及び現金同等物の期末残高	2,695	3,383

## 会社概要

商号	昭和鉄工株式会社 Showa Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	福岡県糟屋郡宇美町大字宇美3351番地8
創業	1883年10月2日
設立	1933年4月30日
資本金	16億4,100万円
従業員数	392名(連結396名)
主な事業内容	ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラー・ヒーター・バーナー・オユシ等の熱源機器、循環温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋梁用防護柵等の景観製品、鋳造品等の製造販売のほか、空調機器、熱源機器等の一部販売・メンテナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計・監理・施工の請負

## 主な事業所

東京支社	神奈川県川崎市川崎区中島二丁目2番7号
工場	宇美工場(福岡県糟屋郡)、古賀工場(福岡県古賀市)、札幌工場(北海道石狩市)
支店	東北(北海道石狩市)、東京(川崎市)、大阪、九州(福岡県糟屋郡)
営業所	札幌(北海道石狩市)、仙台、北関東(さいたま市)、名古屋、広島、下関、南九州(熊本市)
関係会社	昭和トータルサービス株式会社

(注)東北支店は、2026年4月1日付で北海道石狩市から宮城県仙台市へ移転いたしました。

## 役員

(2026年6月24日現在)

### 取締役・監査役

代表取締役	日野 宏昭
取締役	尾島 孝則
取締役	執行 貴洋
取締役	上野 俊幸
取締役	佐藤 仁俊
常勤監査役	大島 正信
監査役	横田 浩二
監査役	本田 隆茂

### 執行役員

社長CEO	日野 宏昭
常務執行役員	尾島 孝則
上級執行役員	執行 貴洋
執行役員	名和 正之
執行役員	森 克郎
執行役員	都地 美生隆
執行役員	井上 晋輔
執行役員	今田 大輔

## 株式の状況

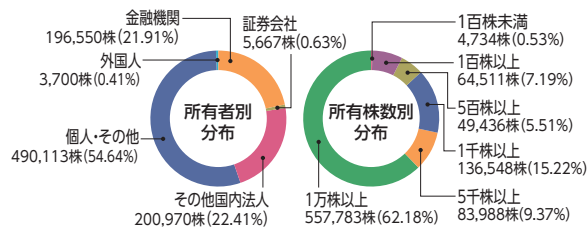
発行可能株式総数	2,400,000株
発行済株式の総数	897,000株
株主総数	792名

## 大株主

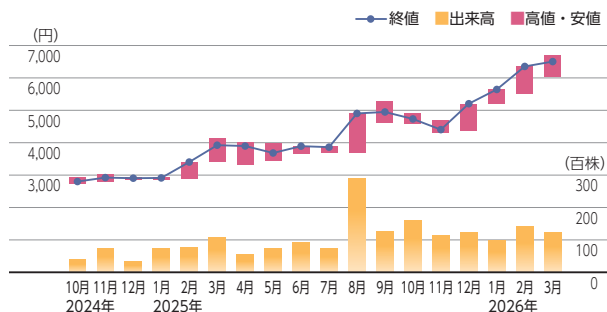
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社福岡銀行	38,650	4.69
株式会社西日本シティ銀行	38,500	4.67
株式会社北九州銀行	35,750	4.34
西部ガスホールディングス株式会社	34,500	4.18
西日本鉄道株式会社	29,100	3.53
山本裕治	26,800	3.25
飯田久泰	26,700	3.24
飯田卓子	22,631	2.74
飯田吉宣	22,430	2.72
渡邊秀一郎	22,200	2.69

(注)持株比率は、自己株式(73,372株)を控除して計算しております。

## 株式分布状況



## 株価の推移



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の基準日 毎年3月31日 剰余金の配当の基準日 毎年3月31日 中間配当の基準日 毎年9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (お問合せ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告によります。 <a href="https://www.showa.co.jp/">https://www.showa.co.jp/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	100株

## 株主様へのご案内

## 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## 未払い配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## ホームページのご案内

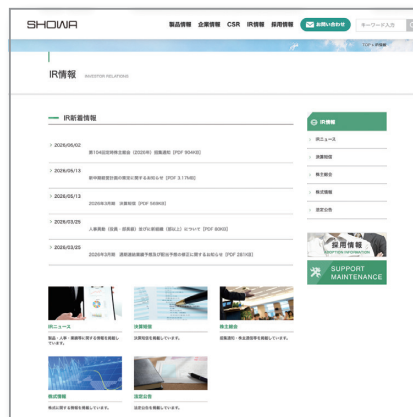
<https://www.showa.co.jp/>

### ●トップ画面



当社ホームページでは、IR情報をはじめ豊富なインフォメーションを掲載しています。どうぞご利用ください。

### ●IR情報トップ画面



 昭和鉄工株式会社

〒811-2101 福岡県糟屋郡宇美町大字宇美3351番地8  
TEL 092-933-6390 (代表)

 UD  
FONT

 ミックス  
紙 | 責任ある森林  
管理を支えています  
www.fsc.org FSC® C022915

 VEGETABLE  
OIL INK

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。  
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷しています。